

新規分野への知的財産権の保護（最近の事例）

（外国の状況）

（1）半導体チップ（マスクワーク）

独自立法（sui generis）

（1985年、半導体チップ保護法成立）

（背景） 産業界からの強い要請
日米先端技術産業作業部会提言

米国： 半導体チップ法（1984年）
WIPO： ワシントン条約

（2）デッドコピー（商品形態の模倣）

・民法709条（東京高裁判決）
【木目化粧紙事件、タイプフェイス事件（傍論）】

・不正競争行為類型への追加

（背景） ・商品の短ライフサイクル化
・デッドコピーに対する社会通念の変化

独： 不競法に基づく判例法理で保護
米： 市場上の盗用・不正使用の法理
WIPO： 製品の模倣規制を検討中

（3）データベース提供サービス

・平成5年の不正競争防止法の改正時、
時期尚早として継続検討課題へ

・民法709条（東京地裁判決・未確定）

対応？

- ・独自立法
- ・不正競争防止法
- ・著作権法

欧州： 1996年 データベース指令
米国： 数度の法案提出（成案に至らず）
WIPO： データベース保護条約草案を
検討中